

軍事費の拡大ではなく 社会保障の拡充を求める国会内集会



記念講演

戦争をしない国の新たな生活保障への道

— 国民最低限、必要充足、ジェンダー平等と社会保障運動 —

講師： **岡崎 祐司** 氏

プロフィール

1962年生まれ、佛敎大学大学院社会学研究科博士後期課程退学。

佛敎大学社会福祉学部教授

福祉国家構想研究会副代表

専攻は福祉政策、医療政策、地域福祉

著書 『安倍医療改革と皆保険体制解体』、『老後不安社会からの転換』いずれも大月書店

『現代福祉社会論』高菅出版 など。

最近の論考に「住民のいのちと尊厳にかかわる公務労働」『住民と自治』2023年4月号

■スケジュール

14：00受付開始

14：30開会

15：00【記念講演】

16：00各団体からの発言

17：00行動提起

2023年6月8日（木）14：30～
衆議院第1議員会館大会議室

保険証廃止や高齢者への負担がさらに増える審議が国会で行われています。未来のため、将来への投資の名のもとに、増税や保険料の値上げなどをし、持続可能な社会保障制度の構築、将来にわたる負担を国民に強いるやり方は本末転倒です。

さらに財源がないと説明する裏では軍事費の2倍化は着々と進められています。本来国家が行うべきは他国への侵略するための軍事費の増額ではなく、国民のいのちや健康、生活を守る社会省制度の拡充のはずです。



YouTubeにて配信もします。
登録された方にURLを送信します。

主催：中央社会保険推進協議会

【お問い合わせ】 k25@shahokyo.jp